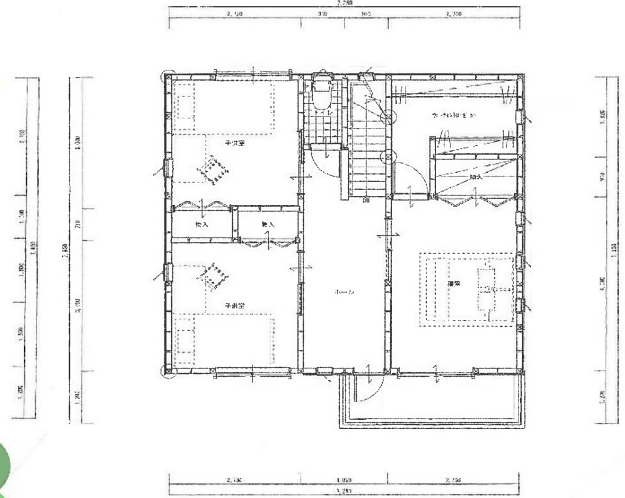


京阪神木造協議会 ゼロエネルギー住宅

5地域 A4区分 仕様



モデルプラン 110.24 m²

5寸切妻屋根

主たる居室	28.79 m ²
その他居室	35.58 m ²
非居室	45.87 m ²

外皮性能 適合仕様

屋根	エアライトフォーム 高発泡ウレタン	
	熱伝導率 λ	= 0.034 W/mK
	厚み t	= 100 mm

壁	エアライトフォーム 高発泡ウレタン	
	熱伝導率 λ	= 0.034 W/mK
	厚み t	= 50 mm

基礎 断熱	押出法ポリスチレンフォーム 保温板 3種	
	熱伝導率 λ	= 0.028 W/mK
	厚み t	= 40 mm
	折り返し幅	= 60 mm

外気に 接する 天井	グラスウール 10K	
	熱伝導率 λ	= 0.050 W/mK
	厚み t	= 50 mm

外気に 接する 床	押出法ポリスチレンフォーム 保温板 3種	
	熱伝導率 λ	= 0.028 W/mK
	厚み t	= 50 mm

窓・ ドア	Low-E 複層 A10以上 断熱タイプ	
	日射熱取得率 η	= 0.64
	熱還流率 UA	= 2.33

一次エネルギー消費量 適合仕様

通風	なし
----	----

冷暖房設備	エアコン
-------	------

換気設備	壁付け第二種 or 第三種換気設備
------	-------------------

給湯設備	エコキュート JIS効率 = 3.1 以上
------	--------------------------

配管	ヘッダーから先 13A 以下
----	----------------

水栓	台所 = 節水機能なし 洗面 = 節水機能なし 浴室 = 手元止水(A1)
----	---

浴槽	高断熱浴槽
----	-------

照明設備	全て LED 主たる居室 = 機能なし その他居室 = 機能なし 非居室 = 人感センサー
------	--

太陽光発電	4.45 kW 真南15度未満
-------	-----------------

住宅の外皮平均熱貫流率及び外皮平均日射熱取得量（冷房期・暖房期）計算書

（木造戸建て住宅）

(2016年3月31日 AFGC修正)

1) 基本情報の入力

住宅の名称	京阪神木造協議会 申請モデル		
住宅の所在地	兵庫県	(地域区分)	5 (IVa)
住宅の規模	地上	2 階	、地下 0 階

2) 計算結果

外皮平均熱貫流率	0.67 W/(m ² K)	単位温度差あたりの外皮熱損失量(q)	195.6 W/K
冷房期の外皮平均日射熱取得率	2.7	単位日射強度あたりの冷房期の日射熱取得量(m _C)	7.7
外皮等面積の合計	292.34 m ²	単位日射強度あたりの暖房期の日射熱取得量(m _H)	9.67

3) 省エネルギー基準外皮性能適合可否結果

	計算結果	基準値	判定		
外皮平均熱貫流率 [W/(m ² K)]	0.67 W/(m ² K)	0.87 W/(m ² K)	適合	<input checked="" type="radio"/>	等級4
冷房期の外皮平均日射熱取得率	2.7	3.0	適合	<input type="radio"/>	等級3
				<input type="radio"/>	等級2

注1:本計算シートに入力している面積は、別途平面図や立面図等で計算過程を明示しています。

注2:本計算シートに入力している部位の熱貫流率は、別途計算書等を添付しています。

注3:本計算シートの計算方法は、(独)建築研究所が示す外皮性能の計算方法を遵守しています。

注4:内訳計算シートAは、住宅の外壁の面する方位別のシートに入力してください。

注5:各シートの 黄色 部分に入力するか、あるいはドロップボックスから選択してください。

注6:各シートに入力する寸法は、メートル単位で入力して下さい。

注7:本計算シートでは計算式の誤削除を防止するため、シートを保護していますがパスワードの設定はしておりません。

よって各社の仕様に応じ内容を修正することは制限しませんが、計算過程を追えるよう修正することをお願いします。

※1 窓の付属部材に応じた日射熱取得係数を使う場合は、付属部材に応じた値を直接入力して下さい。

一次エネルギー消費量の評価書

1. 省エネ基準一次エネルギー消費量算定方法による計算結果

(1)タイプ名称	京阪神木造協議会 モデルプラン③				
(2)床面積	主たる居室	その他の居室	非居室	合計	
	28.79 m ²	35.58 m ²	45.87 m ²	110.24 m ²	
(3)省エネ地域区分 /年間日射地域区分	5	地域 / A	4	区分	
(4)住宅の一次エネルギー消費量 (1戸当り)	設計一次エネルギー消費量		基準一次エネルギー消費量		
暖房設備一次エネルギー消費量	18,280	MJ/(戸・年)	19,050	MJ/(戸・年)	
冷房設備一次エネルギー消費量	1,850	MJ/(戸・年)	1,836	MJ/(戸・年)	
換気設備一次エネルギー消費量	4,208	MJ/(戸・年)	4,168	MJ/(戸・年)	
給湯設備一次エネルギー消費量	19,777	MJ/(戸・年)	26,805	MJ/(戸・年)	
照明設備一次エネルギー消費量	4,478	MJ/(戸・年)	9,671	MJ/(戸・年)	
合計	48,593	MJ/(戸・年) ①	61,530	MJ/(戸・年) ②	
(5)太陽光発電 関連	太陽光発電等による削減量 (マイナス数値を入力)	-14,867	MJ/(戸・年) ③		
	発電量(太陽光発電)	49,723	MJ/(戸・年) ④		
	売電量	34,855	MJ/(戸・年) ⑤		

2. エネルギー削減量、エネルギー削減率の計算結果(ゼロ・エネルギーの評価)

※ピンク色の欄の数値を様式5-1に転記してください。

基準エネルギー消費量	61,530	MJ/(戸・年)	⑥ : ②
エネルギー 消費削減量	全体削減量	62,659	MJ/(戸・年) ⑦ : (②-①)+(-③+⑤)
	太陽光発電を除く削減量	12,936	MJ/(戸・年) ⑧ : ⑦-④
エネルギー消費量(全体としての評価)	-1,129	MJ/(戸・年)	⑨ : ⑥-⑦
エネルギー 削減率	全体エネルギー削減率(R)	101.8	% ⑩ : ⑦÷⑥×100
	太陽光発電を除く エネルギー削減率(R ₀)	21.0	% ⑪ : ⑧÷⑥×100

注1) グレー及びピンクの欄は自動で計算されますので、入力は不要です。

注2) 住宅版BELS認証を取得する場合、本様式の提出は不要です。

エネルギー削減率(R、R₀)を様式5-1に記入して提出ください。

申請用 モデルプラン 5地域 (A4)

建築物の省エネ性能に関する評価・表示制度(BELS) | 一般社団法人 住宅性能... 1/1 ページ

当協会は品確法に基づく評価機関等で構成され、住宅性能表示制度の適切で円滑な運用を目指し活動しています。

本システムは、国立研究開発法人建築研究所のHPに掲載された平成28年基準に準拠した一次エネルギー消費量算定プログラムから出力された計算結果のPDFを用いて、自己評価ラベルの出力及びBELSの☆算定を行うシステムです。
本システムをご利用できるプログラム: エネルギー消費性能計算プログラム(住宅版) Ver.2.0

アップロードされたエネルギー消費性能計算結果等PDFファイル StandardReportNew.pdf

- 自己評価ラベル(※)の出力
※建築物省エネ法7条に基づく建築物の省エネ性能表示のガイドラインに従った自己評価ラベル

自己評価ラベルの作成	
建物名称	京阪神木造協議会 申請サンプル 5地域
評価年月日	2016/05/23
一次エネルギー消費量基準への適合可否	適合
外皮基準への適合可否	<input checked="" type="radio"/> 適合 <input type="radio"/> 適合しない

[ラベルを作成する](#)

- BELS☆数の算定

算定結果(自己評価)					
※アップロードされたPDFから読み取られた数値のみから算定された結果であり、BELS評価機関の評価結果を保証するものではありません。					
BEI	0.55	削減率	45%削減	星数	☆☆☆☆

[算定終了](#) [別のPDFで再算定する](#)

この建物の
設計一次エネルギー消費量 **45 %削減**
307MJ/(㎡・年)



0

誘導基準 (10%削減) 559MJ/(㎡・年)
京阪神木造協議会 申請サンプル 5地域
2016年5月23日
自己評価

一次エネルギー消費量基準	適合
外皮基準	適合